

プログラム

- 12:30 開 場
13:00 開 会
13:05 来賓挨拶
13:15 基調講演「省エネ住宅の現在地～木質エネルギーは住宅の脱炭素化にいかに関与するか～」
三浦秀一氏(東北芸術工科大学 教授)
14:00 Q&A
14:10 休 憩
14:20 基調講演「環境時代のストーブ事情～設計の立場から～」
山本亜耕氏(株式会社 山本亜耕建築設計事務所代表取締役)
14:50 Q&A
15:00 話題提供「ゼロカーボンシティ旭川における木質ペレットの役割」
設楽英典氏(北海道地球温暖化防止活動推進員)
15:20 シンポジウム宣言
横山愛慈(一般社団法人 日本ペレットストーブ工業会 北海道支部長)
15:30 終 了

みなさまへ

2025年4月、住宅分野においても省エネ基準適合義務化が全面施行されました。ペレットストーブは、省エネ基準におけるエネルギー消費量を算定できる暖房機器として国の制度(通称webプログラム)に正式に登録されました。大きな前進であり、成果です。

しかしながら、ペレットストーブは再生可能エネルギー暖房機でありながら現状の制度においては、木質ペレットの一次エネルギー消費量は石油などの化石エネルギーと同等と扱われており、優位性が示せないどころか、劣後する値となっています。

本来、木質エネルギーはカーボンニュートラルとして扱えるものであり、北海道などの寒冷地において必要不可欠な暖房においてこそ、その非化石性を適切に評価されるべきであると強く訴えるところであります。

そこで、今回のシンポジウムは、最も寒さの厳しい場所のひとつである旭川市を開催地を選びました。そうした私共の熱意に対し、研究者として、建築士として、それぞれの分野のエキスパートである三浦秀一教授・山本亜耕代表が講演を快諾していただきました。

俯瞰的な立場から、木質エネルギー、なかでも木質ペレットが如何に優位性に富んだ暖房エネルギーなのかご聴講賜りたいと存じます。

できるだけ分かりやすく一般市民の皆様にもご理解いただけるような内容にさせていただきます。屋外広場では実際にペレットストーブの燃焼展示も行いますので、心からご来場をお待ちしております。